

6月6日の議会運営委員会において配付にとどめるものと決定したものです。

陳 情 文 書 表

平 2 9 陳 情 第 2 0 号		平成 2 9 年 5 月 3 0 日 受 理
件 名	里山ふれあいセンターの使用料を現行どおり維持することを求める陳情	
陳 情 者	秦野市北矢名 5 6 - 9 公民館等公共施設の使用料値上げ問題を考える会 代表 平井 洋子 秦野市清水町 5 - 4 平和・民主・革新をめざす秦野市懇談会 事務局 片倉 忍	
陳 情 の 要 旨		
<p>市は、平成 2 8 年 1 0 月に秦野市里山ふれあいセンター（以下「里山ふれあいセンター」という）の使用料について引き上げを公表しました。</p> <p>市は、「里山ふれあいセンター」について、「地域林業者の活動を促進し、並びに森林及び林業に対する市民の理解を深めるための施設」として設置しました。</p> <p>平成 2 7 年度、「里山ふれあいセンター」において、林業体験、木工教室、間伐材を活用した事業等に市民等が延べ 4, 6 0 0 人参加し利用しました。</p> <p>この様に市民が「里山ふれあいセンター」を利用、林業に理解を深める活動に参加していることは重要です。</p> <p>「里山ふれあいセンター」使用料の値上げは、市民の活動及び利用を萎縮する懸念があり問題です。</p> <p>また市が「里山ふれあいセンター」の使用料の値上げをしなければならぬ財政的な環境は無いと考えます。</p> <p>そして市は、「里山ふれあいセンター」利用者にこれ以上の負担を求める道理と根拠はありません。</p> <p>まずその 1 は、市監査委員が平成 2 7 年度決算の市の主な財政指標の状況で、「財政力指数、経常収支比率、実質公債費比率」を挙げる財政運営を評価しています。</p> <p>その 2 は、市が平成 2 8 年 1 1 月 1 日発行「広報はだの」で市の財政の健全度について、「本市の財政は財政悪化の目安とされる『早期健全化基準』を全ての項目で下回り、前年度までと同様、健全な状態を維持しています。」と自ら評価しています。</p> <p>以上のように市は、「市の台所事情は、健全財政の維持」と認めています。従って、下記の項目を陳情します。</p> <p>陳情項目 里山ふれあいセンターの使用料は、現行どおり維持すること。</p>		